佐渡地域河川（国府川水系他）自然再生計画の概要

トキの野生復帰に向けた川づくり

トキは、国の特別天然記念物であり、
日本を象徴する国際保護鳥です。

写真提供：佐渡トキ保護センター

大佐渡山地から見た国仲平野

諏訪川沿いの棚田

国仲平野を流れる国府川

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

計画策定の背景と目的

トキを再び佐渡島の大空へ

トキは、かつて全国各地に生息していましたが、明治時代以降、生息数及び生息域が減少し、平成15年には日本産のトキは絶滅しました。しかし、佐渡トキ保護センターでは、中国産トキのペアによる人工繁殖に成功し、平成18年７月現在で98羽のトキが飼育されています。

国、新潟県、佐渡市は、「2015年頃に小佐渡東部に60羽のトキを定着させる」という目標を掲げ、地域と一体となった取り組みを進めています。

トキの野生復帰を支援する川づくり ～自然再生事業の取り組み～

新潟県では、トキの野生復帰を川づくりの面から支援するという観点で、河川における生態系の多様性の保全・再生・創出を目標とする自然再生計画を策定しました。佐渡地域の河川における自然再生は、トキの野生復帰に向けた地域の取り組みと一体となって河川環境の整備を行い、かつての良好な河川環境の保全・再生・創出を目指すものです。

トキの生息環境における河川の役割

トキに対する役割

河川はトキの餌場となります。また、トキの餌生物が生息、増殖する場であり、餌生物の供給源としての役割も果たします。

トキの餌生物に対する役割

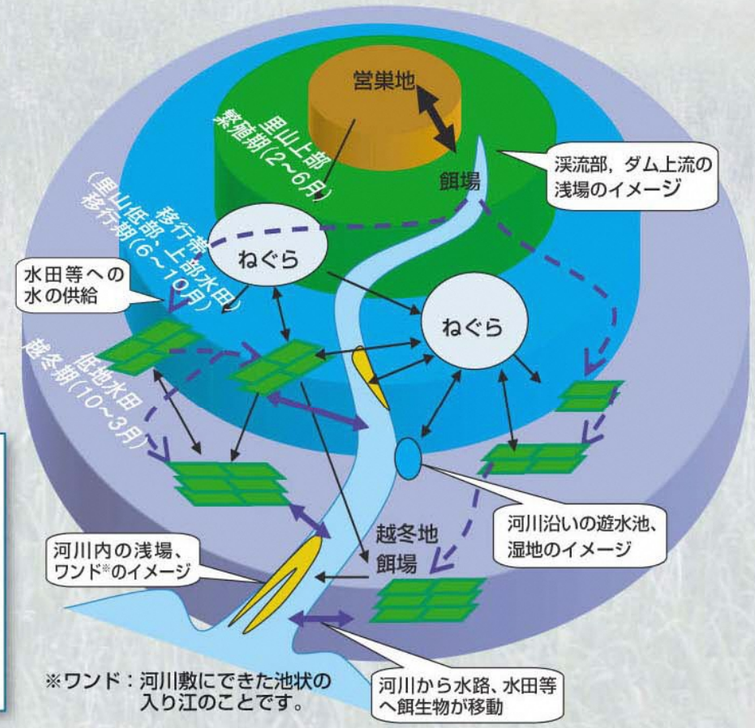
トキの餌生物は、河川そのものを生息の場、産卵の場、出水時の避難場所として利用するほか、産卵場等への移動経路としても利用します。

トキの餌場に対する役割

河川は、トキの餌場となる水田、湿地などに対して水路網を形成し、水を供給します。

代表的なトキの餌

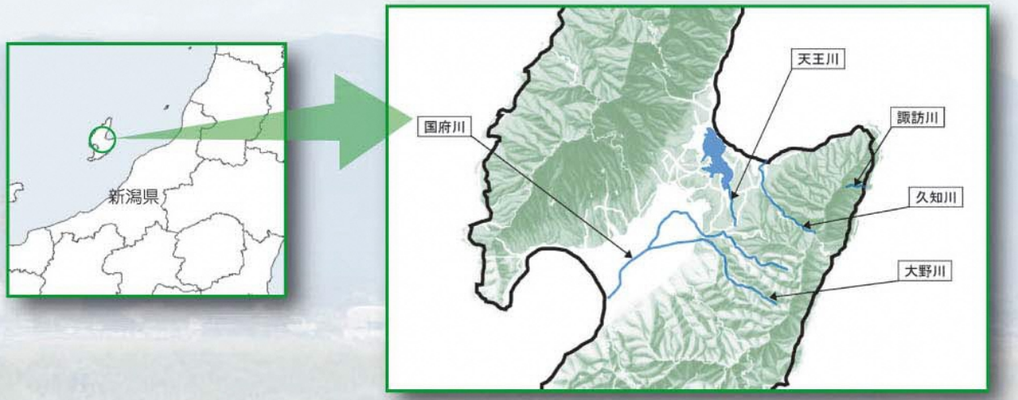
良好なトキの生息環境を形成するうえで、河川の果たす役割は大変重要です。



※ワンド：河川敷にできた池状の入り江のことです。

計画対象河川

自然再生計画の対象河川として、野生のトキの最後の生息地であり、トキの野生復帰の取り組みの中心である小佐渡東部地域を流れる代表的な**国府川、大野川、久知川、天王川、諏訪川**の５河川を設定しました。なお、小佐渡東部地域は、トキの放鳥の候補地ともなっています。



河川の変遷と課題

佐渡島の野生のトキが絶滅したのは、山間部の水田の減少などで、トキの生息環境が減少、悪化したことが一因になったものと考えられます。

特に河川においては、河川改修により直線化するとともに、川岸がコンクリートで固められてきました。また、河川の中に、数多くの堰や落差工、樋門などが設置されてきました。それが河川におけるトキの生息環境の減少、悪化につながってきました。

国府川下流部のようす（国府橋付近）

課題

トキの餌場が少なくなった

●河川の直線化や川岸がコンクリートで固められたことなどにより、川の中の湿地や浅場が減少してきました。

トキの餌生物となる水生生物等が少なくなった

●自然の川岸や川底が失われて、トキの餌生物も含めた水生生物等の生息環境が悪化してきました。

●川に設置された構造物などで川の中での移動や水田・水路への移動がしにくくなりました。

自然再生事業の進め方

基本的な考え方

1．流域・河川で取り組む

河川だけではなく、流域を視点とした取り組みを行います。

2．地域みんなで取り組む

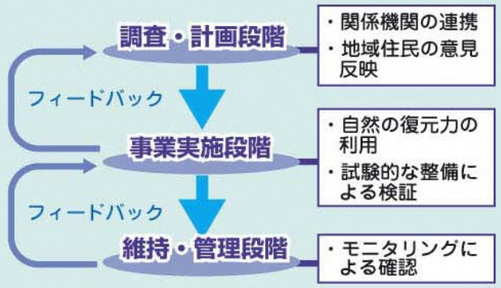
取り組みは、行政だけではなく、地域住民、市民団体、NPO、事業者、関係機関等が一体となって行います。

3．順応的・段階的に取り組む

段階的に事業を実施するとともに、モニタリングをして、その結果をフィードバックさせながら進めていきます。

4．佐渡島全体で取り組む

当面の取り組みは、計画対象の５河川としますが、順次取り組みを広げ、最終的には佐渡島全体での取り組みとします。



久知川の美化清掃
（久知河内ホタルの会）

自然再生計画の作成について

佐渡地域河川（国府川水系他）自然再生計画は、学識者等で構成される「トキの野生復帰に向けた川づくり検討委員会」、地域の関係者や関係行政から構成される「トキの野生復帰に向けた川づくりワーキング会議」を設立し、検討を進めてきました。

計画の詳細は、
新潟県佐渡地域振興局地域整備部のホームページ
http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/sado/seibibu/
をご覧ください。　※ かわ（トキ） をクリック

お問合せ先

新潟県　佐渡地域振興局　地域整備部
〒952-1555　新潟県佐渡市相川二町目浜町20番１号
Tel 0259(74)3356　Fax 0259(74)2048
E-mail：T0811703@pref.niigata.jp

PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は、大豆インクを使用しています。
R100
この印刷物は、古紙含有率100%再生紙を使用しています。
平成18年8月作成